

# 市仏連会報

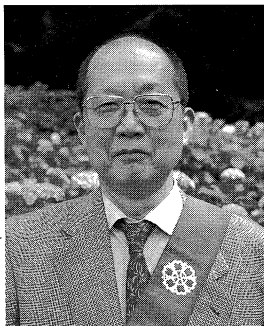
発行所  
 横浜市中区大平町96  
 光明山西有寺内  
 横浜市仏教連合会  
 電話(045)661-0166

## 再任のご挨拶

横浜市仏教連合会

会長 都 築 哲 信

「癒しの仏教から本来の祈りと  
 供養の仏教へ」  
 先般五月二十三日の総会にて、



この度二期目の会長職をお受けす  
 ることになりました。前期同様、  
 ご教導、ご鞭撻のほどを宜しくお  
 願い申し上げます。

今年の夏も昨年と同じように猛  
 暑の予報でしたが、気圧配置の悪  
 戯で今年は冷夏となつてしまいま  
 した。四季に準じて生活をしてい  
 る、特に日本人は色々の立場で影  
 響を受けています。

でも、冷夏であっても御盆はや  
 はり身に伝える暑さでしたが、会  
 員の皆様にはご健勝にてお過ごし  
 のことと拝察いたします。

お盆に象徴されるように、信仰  
 心に培われた「祈りと供養」は仏  
 教徒にとって大切な勤めです。

社会が複雑化し不安定になると、  
 精神的なイライラが多くなり、ス  
 トレスがたまります。身の処し方

が定まらないため、近年自殺者が  
 非常に多くなつております。こう  
 した社会情勢を反映してマスコミ  
 などに「心の時代」とか「心の安  
 らぎを求める場所」とか言われて、  
 その解決を寺院に要求して「癒し  
 の仏教」を唱えています。しかし、  
 家庭に仏壇が無かつたり、たとえ  
 あつても手を合わせる事が無い  
 と、心の拠り所がありません。

宗教儀式としては重要な葬儀が、  
 一部の葬儀社によつて華美なム  
 ード造りに偏し、僧侶の読経が葬儀  
 社の付属品のようになつておりま  
 す。ここには「祈りと供養」とは  
 かけ離れた商売の世界が展開して  
 います。やがて、仏壇から位牌ま  
 で特別割引の形で葬儀社が世話を  
 して一件落着のようですが、この  
 風潮に反発して葬儀無用論まで主  
 張する人や、心の拠り所を持たな  
 い宗教を否定する人々も多くなつ  
 ております。「祈りと供養」に無  
 関係な家庭が増えるほど社会情勢  
 は不安定になります。

横浜という大都市に遠方の地方  
 から移り住んだ人々は多く、その  
 大部分は菩提寺を持たないため業  
 者よりの一方的な知識となつてし  
 まいます。横浜市仏教連合会はこ  
 のような人々への啓蒙が必要であ  
 り、市仏連の存在を知つて頂くこ

ともないます。このためには、理  
 解ある葬儀社と協力して、葬儀に  
 おける「祈りと供養」の意義を理  
 解するように一般に啓蒙すること  
 も重要です。

横浜市仏教連合会ネットワーク  
 構想は大きな目標をもつて現在進  
 んでおります。多くの会員諸聖の  
 ご協力を是非お願い申し上げます。

### 市仏連役員名簿

名誉会長	大道晃仙
顧問	志村慎吾
顧問	森山正成
顧問	滝川覚道
顧問	横山敏明
顧問	齋藤隆法
顧問	福永隆昭
参事	都築哲信
副会長	玄野孝善
副会長	川上敬吾
専務理事	林田眞成
會計	橋下賢明
會計	秋山智謙
時局対策委員長	佐藤功岳
会報担当	備前恭忍
会報担当	関水俊道
監事	丸地良信
監事	森岡隆冲
常務理事	各区仏会長

### ― 泉慰霊堂出仕当番表 ―

平成15年10月6日(月)	南・港南区
平成15年11月5日(水)	神奈川区
平成16年4月	西区
平成16年6月	磯子区
平成16年10月	港北区
平成16年11月	金沢区

### 区仏会長名簿

鶴見区	智廣寺 橋本正博
神奈川区	本覚寺 守長尚文
西区	萬徳寺 横山正彦
中区	東福院 上柳毅明
南・港南区	興禅寺 市川智彬
保土ヶ谷区	金剛寺 細川秀純
磯子区	大聖院 鷲雄興勝
金沢区	長昌寺 石澤彰文
港北区	貴雲寺 渡辺道春
都筑区	長王寺 山本信行
緑・青葉区	東観寺 野村泰秀
戸塚区	圓福寺 福田俊光
瀬谷区	最勝寺 柳沢柳丸
泉区	本興寺 浅井玄裕
栄区	般若院 星野英秀

### 時局対策委員

中区	大圓寺 佐藤功岳
中区	蓮光寺 本多康興
鶴見区	建功寺 榊野俊明
南区	浄光寺 三浦公正
金沢区	龍華寺 和田大雅
港北区	興禅寺 金子慈淵
栄区	光明寺 北條祐英
保土ヶ谷区	安樂寺 矢沢澄道
保土ヶ谷区	福聚寺 森山一城
泉区	積尊奉護会事務局長 程木徳明
積尊奉護会事務次長	程木昭徳
顧問弁護士	遠藤隆也

### ― 涅槃会担当区予定 ―

第29回	平成16年 都筑区
第30回	平成17年 中区
第31回	平成18年 港北区
第32回	平成19年 金沢区
第33回	平成20年 南・港南区

# 第三十回総会開催

横浜市仏教連合会の第三十回総会が平成十五年五月二十三日(金)の午後二時より、中区西有寺様に開催された。

## 総会次第

- 一、開会の言葉 玄野孝善師
- 一、会長挨拶 都築哲信師

「任職、各区仏として檀信徒で構成された地域仏教会の存在、活動は大変有意義かつ重要と確信しております。葬儀ネットワークも立ち上がりました。一応一期二年の会長職も任期満了となり、皆様の支援と協力を得て、どうにか務めさせていただきます。ありがとうございます。」

- 一、司会役 林田眞成師
  - 一、議長 横山正彦師
  - (西区仏会長・萬徳寺住職)
- 「会則十条に出席者の過半数で成立します」

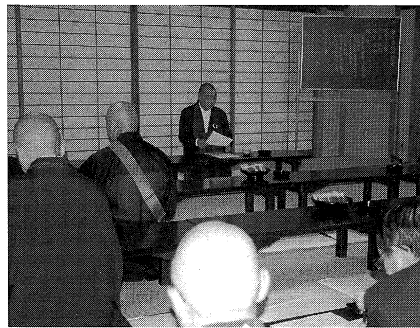
- 一、議案審議
- (1)平成十四年度事業報告 林田眞成専務理事
- (2)平成十四年度決算報告 橋下賢明会計担当理事

- 「総括表・歳入金 二二四万七
- 一四円、歳出金 一八六万四三
- 五円、差引額 三七万九三三九
- 円(次年度への繰越金)」
- (3)会計監査報告 丸地良信監事
- 「適正でありました」
- (4)以上承認の件 横山議長
- 「拍手で承認されました」

- (5)平成十五年事業計画案説明

林田専務理事「第二十九回涅槃会開催 都筑区仏教会当番」

(6)平成十五年予算案説明 橋下会計理事「二二三万七三三九円の予算を計上いたします」



- (7)以上承認の件 横山議長
- 「拍手で承認されましたので、事業計画書案、予算案等の案を取り消して下さい」
- (8)選考委員会よりの報告 林田専務理事が代行
- 「都築哲信師を会長に推挙致しました。ご本人の内諾も得ました」
- (9)次期会長並びに役員改選及び承認の件 横山議長
- 「都築哲信師を会長に、玄野、川上両師を副会長に、前諸役の全員の再任が満場一致で今、承認されました。」
- (10)新会長より挨拶 都築哲信師
- 「二年前に、の会長に推挙さ

れた時には、びつくりしました。全てが勉強で、なんとかかんと二ヶ年、会長の職務を果たしてまいりました。お役ご免と思っておりましたところ、再任されました。乗る人、担ぐ人という言葉があります。諸役の各師が微に入り、細にいり手助けをしてくださるといふことです。お引き受け致しました。お檀家とのつきあい、他宗派の他寺の住職とも接触する機縁にも恵まれ、仏跡参拝、涅槃会、花まつり、成道会などに参席する事ができました。各事業それぞれに重要で、実施されていることは仏教会に携わる者にとって、うれしい限りです。この仏縁の輪を少しでも広げて行きたいものです。宜しく御指導をお願い致します」

(1)委嘱状授与 都築新会長

「諸役を代表して、玄野孝善新副会長がまとめて全員分を拝受しました」

(2)時局対策委員会よりの報告と事業予定の説明 佐藤功岳師

「貸会議室が四十二ヶ寺あり、葬儀ネットワークに参加予定の寺院が一〇八ヶ寺(常務理事の方々は自動的に入会)です。」「運営規則が必要で、その素案を委員会にて検討中で、時折は市仏連内局理事にも参加して貰い協議を重ねています。九月三日に市仏連の臨時総会を開催し、会則を上程し承認を得たいと思っております。九月九日に参加寺院会員大会を予定し、十一月某日に葬儀業者と第二回の会合を持ちたいと思っております」

(2)仏跡参拝旅行の件 ビーエス観

光会社の真川氏。五月九日(月)、総持寺(西新井大師)と本土寺参拝に現在四十一名の参加者があります」

(3)その他

(4)釈尊奉讃会の件 程木事務局長

「市仏連より十五万円の補助金をいただきました。発足して二十五年間経ち、会員の老齢化が多く、奉讃会だよりを三七〇人分送付していますが、総会には三〇名の出席で一八〇名から委任状を貰いました。会費(二千元)の納入率は良い方です。各寺で会員増加と仏教に対する関心を振り起こしていただきたい」

(5)米区仏教会会長・般若院星野師

「平成十五年二月十四日に米区仏教会担当で般若院で第二十八回釈尊涅槃会を営みました。ご協力

により大変やりがいがあり、区仏一同一丸となりました。御礼を申し上げます」

(6)会計橋下師「会計補の秋山智謙師の補を取り消して、私と同格の会計担当理事として下さい」

「正確な会員寺院数は四三六ヶ寺です」

横山正彦議長

「貴重なご意見、活発な議論をいただきました。当局提案の全ての議案件の審議が満了、終了致しましたので議長席を降ります」

一、閉会のことは 玄野孝善師

「長時間のご審議ありがとうございました。第三十回総会を閉会といたします」

午後三時半頃より、西有寺様の客間で、心づくしの料理をいただきました。懇親を深めました。

## 臨時総会開催

平成十五年度当市仏連の臨時総会が西有寺様において開催された。

司会の林田専務理事が午後三時開会の言葉をのべ、全員起立して三席依文を唱和して、ご法楽をさされた。

次に都築哲信市仏連会長挨拶。

「葬儀を我々が一生懸命にやる故人の慰霊の葬儀回向を通して、仏教が遺族施主に安心立命を与える。と認識されることが必要である。葬儀ネットワーク構想の規則を検討していただきたい。」

議長選出、神奈川区の観音寺の本間師が議長席に着かれた。議事(1)横浜市仏教連合会「正しい仏教

葬儀」普及ネットワーク規則(案)の承認を求める件

三〇名近い出席者により、第一條第十三条について、遂一の説明と質問、意見の応答で活発な審議がなされた。

決議、原案どおり「正しい仏教葬儀を普及するためのネットワーク」としての運営規則を承認した。

午後六時閉会。



横浜市市仏教連合会 平成14年度収支計算書

歳入金 2,243,714 円
歳出金 1,864,375 円
差引額 379,339 円
(自平成14年4月1日～至平成15年3月31日)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差引増減△. Rows include 会費収入, 雑部金, 雑収入, 寄付金及繰入金, 前年度繰越金, and 合計.

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差引増減△. Rows include 総務費, 必要費, 事業費, 助成金・負担金, 雑支出金, 予備費, and 合計.

次年度繰越金 379,339 円
平成15年4月30日

上記のとおり収支計算書を提出致します。
横浜市仏教連合会 会長 都築 啓信
監査の結果相違ない事を認めます。
監査 入地 良信
監査 森岡 隆冲

横浜市市仏教連合会 平成15年度歳入歳出予算書

歳入金 2,137,339 円
歳出金 2,137,339 円
差引額 0 円
(自平成15年4月1日～至平成16年3月31日)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 差引増減△. Rows include 会費収入, 雑部金, 雑収入, 寄付金及繰入金, 前年度繰越金, and 合計.

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 差引増減△. Rows include 総務費, 必要費, 事業費, 助成金・負担金, 雑支出, 予備費, and 合計.

平成15年5月23日

上記のとおり歳入歳出の予算案を提出致します。
横浜市仏教連合会 会長 都築 啓信
会計 橋下 賢明

# 横浜市仏教連合会「正しい仏教葬儀」普及ネットワーク規則

## 第1条【名称】

本会は「横浜市仏教連合会」「正しい仏教葬儀」普及ネットワーク（略称：「市仏ネット」）という。

## 第2条【事務所】

本会の事務所は代表指定の寺院に置く。

## 第3条【組織】

本会は横浜市仏教連合会（以下「市仏連」という）において組織する。

## 第4条【会員】

本会の目的に賛同する寺院（以下「賛同寺院」とする）をもって会員とする。

## 第5条【目的】

本会は「正しい仏教葬儀」の普及を図るため、原則として横浜市内在住の仏教徒に対して的確な諸情報を提供すること等を目的とする。

## 第6条【事業】

本会は前条の目的を達成するために次の事業を行なう。

- 1 主に菩提寺を持たない横浜市内在住の仏教徒に「正しい仏教葬儀」を執行する賛同寺院の情報提供と紹介
- 2 正しい仏教葬儀を実施及び普及させるための広報活動及び事業
- 3 前条の目的に賛同し、「正しい仏教葬儀」を実施する葬祭業者の紹介
- 4 原則として横浜市内に本社及び事業所を持つ葬祭業者等に対して「正しい仏教葬儀」を実施させるための指導育成
- 5 本会の目的を達成するために必要に応じて事務及び業務を他に委託することができる

## 第7条【事業の決定と運営】

- 1 本会の事業は市仏連において決定する
- 2 本会の運営は事務局長及び執行部員によって行う

## 第8条【役員】

本会は次の役員を置き、その任期は市仏連の任期に準じる。

- 1 代表一名を置き、市仏連の会長が就任する
- 2 事務局長一名を置き、市仏連の時局対策委員会委員長が就任する
- 3 執行部員若干名を置き、市仏連の時局対策委員が就任する

## 第9条【役員の仕事】

- 1 代表は本会を代表する
- 2 事務局長は本会の事務を統括し、執行部員は本会の事業及び業務を執行する

## 第10条【会議】

会議は執行部会、会員集会の2種とする。

- 1 執行部会は年1回以上事務局長が召集し、以下の事について審議・承認する。
  - ・ 事業の計画及び報告
  - ・ 予算及び決算
  - ・ 業務の委託及び重要事項
- 2 会員集会は必要に応じて代表乃至事務局長が召集し、会員相互の意見交換等を行う。

## 第11条【財務】

本会の財務は市仏連時局対策委員会費から拠出し、その会計年度は市仏連に準じる。

## 第12条【監査】

本会の業務及び財務は市仏連の監査を受けなければならない。

## 第13条【規則の決定及び変更】

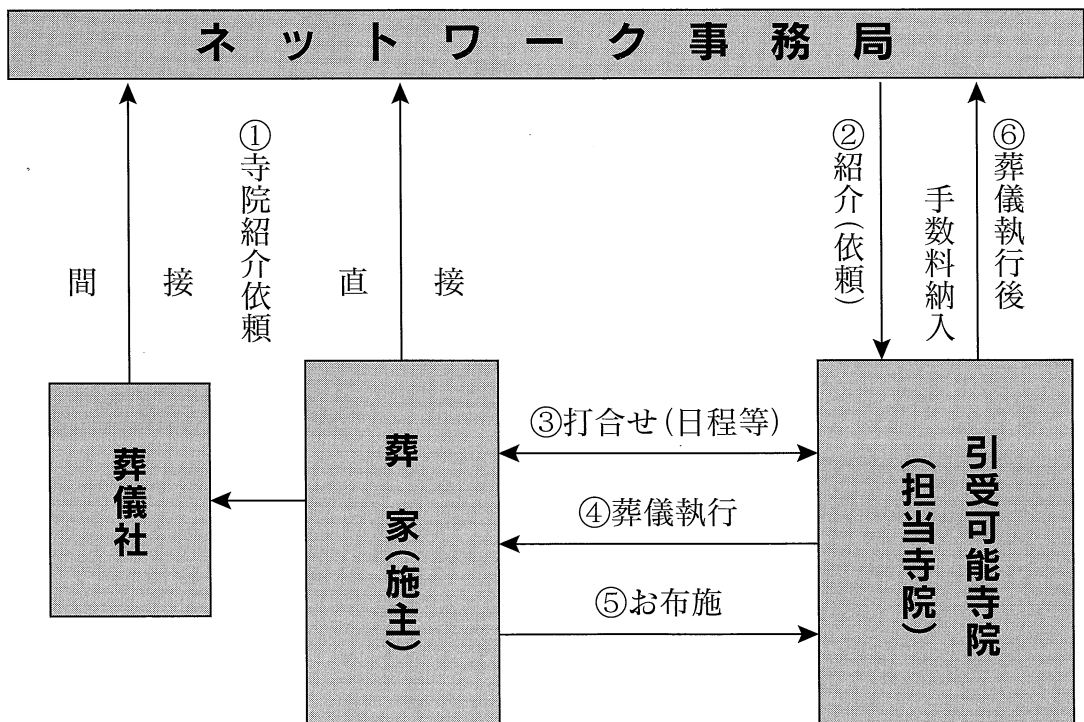
本会規則の決定及び変更は、市仏連総会において承認を受ける必要がある。

この規則は2003年9月3日より施行する。

# 横浜市仏教連合会ネットワーク構想

これは葬儀の際に、決まったお寺のない方々を対象として、信頼できる寺院を紹介するシステムです。

- ① 施主が直接または葬儀社をとおして、市仏連ネットワーク事務局に寺院の紹介を依頼
- ② 市仏連ネットワーク事務局が市仏連会員の引き受け可能寺院（以降 担当寺院）を捜し連絡依頼する
- ③ 担当寺院から施主へ連絡をし、直接打ち合わせをする
- ④ 担当寺院が葬儀執行
- ⑤ 施主が直接担当寺院に御布施を納める
- ⑥ 市仏連ネットワーク事務局に手数料を納入する



時局対策委員会報告

市仏ネット立ち上げに向けて

委員長 佐藤 功 岳

本年度、当委員会は七月末までに四回の委員会を重ね、九月三日の市仏連臨時総会に審議願うところの「市仏ネット」(仮称)の運営規則並びに運営について種々検討いたしました。

重ねての記述で恐縮ですが、この市仏ネットが設立される目的は、三百五十万人にも及ぶ横浜市民、特に未だ菩提寺を確定していない新しい方々に、仏教界からの「安心感」を提供することにあります。今日まで、人口増加地区に於ては、こうした試みは無く、心ない葬祭業者が、布施・戒名料(本来の語句ではありませんが、判り易くするために使用)の五割〜三割という法外な手数料を取って、自分の意に添う僧侶を紹介し、その結果、礼拝施設が無かったり、大変な遠距離であったりして、み仏の教えをコツコツと伝えて来た、本当の仏教僧に、多大なる不名誉を与え、信頼を著しく低下させて来ました。

このように、市仏会員の志と違っている現実に対して、遅時きながら、意識があり、み仏の教えが弘まるために時間を割ける方々を募り、その結果、四ヶ寺に一ヶ寺という協力をいただけることとなりました。

こうした問題に対し、会員諸師

の深いご理解に、行動に委員会は歡喜し、心丈夫となりました。

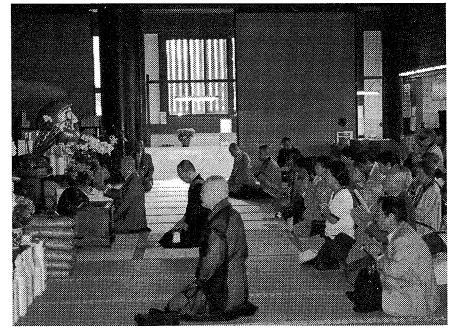
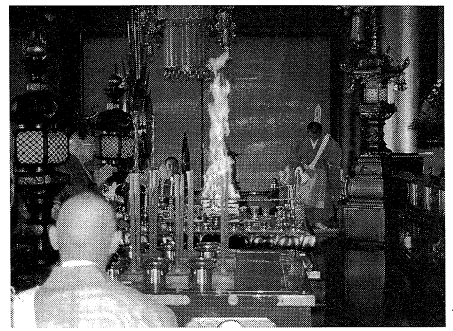
ご案内のように、一般社会に対し、私たち仏教界からの情報発信は皆無に等しく、私たちの大多数は、自分の寺の檀家向けでありました。しかし、本市の人口は前述の如く三百五十万人にのぼり、一世帯三大家族として百六十六万強の世帯数であり、全部が仏教徒ではないとしても、本会四百四十ヶ寺で割ると一ヶ寺に対し二千七百三十軒弱であります。

しかし、現実には会員寺院とつながりのある市民は恐らく二割にも満たないことと考えられ、これからの将来も含めて八割〜六割は、私たちの教化と無関係の場面となることも予想できます。

そして、こうした巨那寺(手つぎ寺)を持たない圧倒的に大多数の人々からの声はNHKを含めた一般マスコミに強く受け入れられ私たちがへの不信感、またも増加してしまいかも知れません。

しかし、今期を境に一般社会へ情報を発信し、私たちの考え、行動が正しく評価される方向へと進んでいくことは、本会の望むことであると存じます。

会員諸師のより一層のご協力、ご理解をよろしくお願いいたします。



第二十回春の仏跡参拝旅行

西新井大師と本土寺

平成十五年六月九日(月)、朝七時に横浜駅西口天理ビル横に集合し、四十四名が乗り込み、バスが出発した。天気も良く暑い一日だった。東京都足立区の西新井大師に八時半に着いた。予定よりも早く到着したので寺の駐車場の門が閉じられていた。本堂前で記念写真を撮り、堂内に入るも寺側はまだ受付の人も居らず、我々は立ち往生の体で時を過ごした。ようやく姿の見たた作務衣の方の許可を得て、般若心経を唱和し動行をした。都築市仏連会長と釈尊奉讀会長の増島氏がご挨拶をされ、同行の御住職十名が自己紹介をされた。

西山新井大師の若い役僧さんのお話を聞いた。五智山遍照院総持寺と称し、真言宗豊山派に属し、総本山は奈良県の長谷寺である。当寺のご本尊は十一面觀世音菩薩と弘法大師である。千百年前に弘法大師空海様が立ち寄られ、疫病流行に悩む苦厄の人々をお救いになられた。東京の東に在るのに西新井とはの疑問は、枯れ井戸の西側にお大師様が祈念をこらすと水が湧き出し、悪病が治まったとの故事から西新井大師となったという説明で納得した。「火伏せの大師」とも称され、焼け焦げの残る木魚があり、とても印象的だ。

九時半に御護摩奉修があり、御山主の浜野堅照祝下(真言宗豊山派前管長)の御導師のもと、職業九口により、九条錫杖経、觀音経、心経、大金剛輪陀羅尼、南無大師遍照金剛等の読経をいただき、お護摩の炎が高く燃え上がり、諸願

成就の御祈禱を受けた。十一時から十二時まで、千葉県野田のキッコーマンの醤油工場を見学した。一時から、松戸市の「しのだ」で昼食をとった。午後二時から三時十分まで、松戸市平賀の日蓮宗長谷山本土寺を参詣した。境内は丁度、あじさいの花と菖蒲の花の最盛期であった。もみじの木も沢山あり、青い葉と花、花に埋もれて、素晴らしい時と空間を堪能した。五時〜五時半にアクアラインの海蛸で休憩し買物をして、夕方六時に横浜天理ビル横に帰着した。参加寺院名・勸行寺、長昌寺、見光寺、東泉寺、西福寺、東照寺、常真寺、金蔵寺、松蔭寺、久光院、西量寺、大円寺、西有寺。



# 支部だより

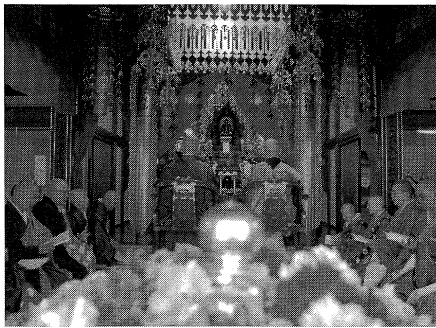
## 鶴見区

去る四月五日、恒例の鶴見区仏教会と鶴見区釈尊奉讃会共催による「釈尊奉讃花まつり法要」が、本年は鶴見・末吉班合同（鶴見区仏教会は八班に分れています）で、鶴見班の曹洞宗成願寺様にて勤修されました。

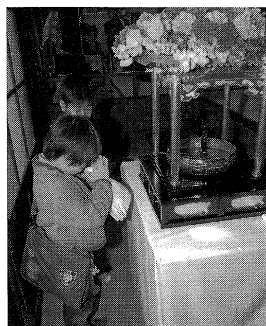
この花まつり法要は、行なわれたのがはつきりわかっている昭和二十三年から数えても、五十五年続いている仏教会としての最も大切に行事です。

鶴見区仏教会独自のおつとめの本による勤行の後、智廣寺橋本正博氏より、釈尊のご生涯を偲ぶとともに、イラク戦争や日本の現状などから、あらためて「いのちの尊さ」を見つめ直そうとの法話を頂きました。

尚、五月九日の税務講習会後の総会に於て、新会長に智廣寺橋本正博氏が選出され、副会長は良忠



寺森本祐康氏（計は成願寺廣澤道秀氏と決まりました）。



## 戸塚区

私が戸塚区仏教会の会長をおおせつかつて以来すでに一年が、過ぎた。しかし会長として充分な活動が出来ないまま只何となく、ダラダラと日を送つて来た気がする。各種の会議、総会にも満足に出席出来ず会長の責をけがしている様で心苦しい気持ちです。今年も戸塚区仏教会にて盛大に花まつりが出来たことは区仏の若い皆様は強力な協力で開催することが出来ました。丁度、桜花の満開の頃で会所となった宝蔵院の本堂で雨にぬれた桜花を見ながら沢山の御子供にかこまれて甘茶をいただきました。楽しい一日でありました。

戸塚区三十七ヶ寺、仲々全寺院が集まる事はありません。他の区も同様ですが、会長就任以来未だお目にかかれない住職が沢山居ります。いつも出席や御手伝いをしてくれる人は決まっています。皆様多忙な日々を送つておられるのでしよう。最近若い人が増えて来ました。私たち老師はほんどん若い人にまかせて区仏の立てなおしをしていかなければならない

と思います。各区仏の青年諸君、頑張つて下さい。（円福寺 福田俊光）

## 都筑区

当区仏教会では、十三年度後半に「区仏寺院マップ」作成委員会を設立し、区内寺院アンケート・境内写真撮影を行い、昨年末完成無料配布となりました。

区民の平均年齢が三十代半ばということを考慮し、従来の寺院マップとは趣を変え、環境にやさしい再生紙を使用、A4版二色刷十二頁立てとし、若手作家の駒沢氏に文章を、又レイアウト等はデザイナリーの草野氏にお願いし、大変親しみやすくなりました。費用は、区仏の予算の他、当区内外企業よりの協賛金で賄いました。各寺院はもとより区役所・区内地区センター等公共施設にも無料配布し一般の区民でも参拜できるようにしました。

今年度以降の事業としましては、公の場で式結婚式を執行できないものかと検討中です。新郎新婦を公募し、地元ケーブルテレビで放映する予定です。

最後になりましたが、本年二月には当区仏教会担当の涅槃会がございますので、ご随喜等ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

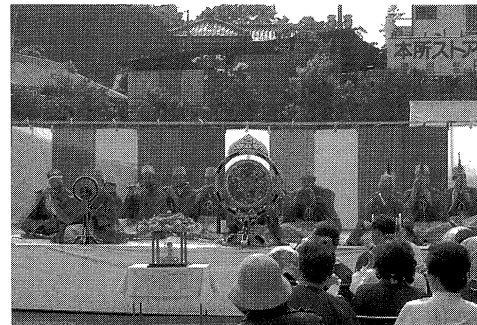
## 緑・青葉区

「花祭り開催」  
緑・青葉区連合仏教会では、旧漕仏会にちなみ五月五日に花まつ

りを開けました。緑区長津田・大林寺様山水閣前駐車場に特設の舞台を組み、御法楽の後、御詠歌・雅楽奉納、甘茶ティーバッグ配布等を行い、近隣の子供達を始め二百名ほどの参拝者で賑わいました。特に御詠歌では区内で活動されている講員さんが集まり、梅花講と金剛講の共演が実現。梅花講「三寶御和讃」「釈尊花祭御和讃」、金剛講「瑜伽」「同行一人詠舞」を唱えました。

また、会員寺院住職と共に高野山真言宗神奈川雅楽部の協力を得て演じた雅楽では、釈尊説法時に舞い降りたと言われる妙音鳥にちなんだ童舞・迦陵頻（かりようびん）等を奉納致しました。

白象の山車を引いて練り歩いた時代の花まつりから音楽法会へと姿を変えた初の試みでありました。今後もお釈迦様の御誕生をより多くの方とお祝いできるように、続けて参りたいと考えています。



## 金沢区

花まつり挙行  
日差しも暖かくなった四月六日、富岡の長昌寺本堂におきまして、第五十七回釈尊降誕会、花まつり大会が厳修されました。

前日は雨が降り、当日の天気が心配されましたが心地よい天気恵まれ、出発会場の富岡の慶瑞寺より稚児行列が始まりました。鼓笛隊の軽快なリズムに乗せて、お稚児さん、職衆、講中、大会役員の皆様が行列をなして長昌寺へむかいました。

行列中に職衆の方々の散華（運の花を模したお札をまくこと）が春の風に乗り、長昌寺の桜も満開でとても荘厳さあふれる行列でした。

法要では長昌寺本堂で、御寺院、お稚児さん、奉讃会役員、講中代表の皆様が花御室に進み、お釈迦様に甘茶を注ぎ、外の花御堂でも檀家の方々や大勢の参加された方が、甘茶をお釈迦様に灌沐し、ご生誕をお祝いされておりました。

金沢仏教会では花祭りには稚児行列を行い、釈尊のご生誕をお祝い致します。今回の花まつりに六十余名のお稚児さんに参加していただいたことは私たちにとって、大変うれしいことであります。

仏教会ではこれからも毎年、花まつりを行ってまいりますので、どうぞ御参加下さる様お待ちしております。



### お知らせ

#### ◎秋の仏跡参拝旅行案内

日時 9月29日(月)～10月1日(水)  
 旅程 横浜～燕三条～温海温泉(泊)  
 ～羽黒山～作並温泉～帰路  
 寺院 本成寺、善玉寺、西方寺  
 会費 五万七千円  
 交通 全行程バス

#### ◎第二回市仏連・葬儀業界協議会

日時 平成15年11月10日(月)10時  
 会場 中区西有寺

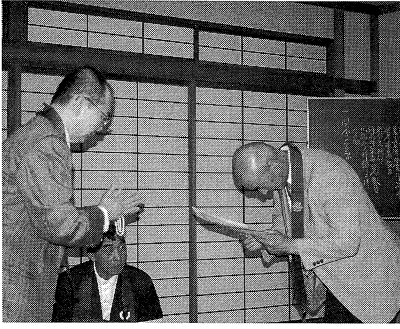
内容 市仏ネットについて他

#### ◎理事会、忘年会

日時 平成15年12月8日(月)5時  
 場所 華正楼

#### 市仏連会員数

鶴見区	34寺	港北区	47寺
神奈川区	30寺	都筑区	31寺
西区	28寺	緑・青葉区	41寺
中区	23寺	戸塚区	37寺
南港南区	56寺	瀬谷区	8寺
保土・旭区	30寺	泉区	12寺
磯子区	18寺	栄区	14寺
金沢区	27寺	合計	四三六寺



### 事務日誌

15.4.1	祝電・鶴見区
15.4.1	祝電・金沢区
15.4.11	総会案内発送
15.4.28	弔電磯子区阿弥陀寺
15.4.30	監査委員会於勸行寺
15.4.30	時局対策委於大円寺
15.5.12	時局対策委於大円寺
15.5.15	慰霊堂担当区連絡
15.5.17	奉讃会総会於東照寺
15.5.23	第30回市仏連総会
15.5.28	役員名簿発送
15.6.9	第20回春の仏跡参拝
15.6.19	時局拡大委於大円寺
15.7.28	臨時総会案内発送
15.9.1	奉讃会だより発送
15.9.1	会報原稿依頼
15.9.3	会報57号編集打合せ
15.9.9	臨時総会於西有寺
15.9.9	市仏ネット運営会員
15.9.27	説明会於西有寺
15.9.27	集於東泉寺

### 編集後記

◎各区仏のたよりを拝見すると花まつり行事に力を入れて取り組まれている。色々と工夫をこらして人々にお釈迦さまと仏教を印象づけようと一生懸命である。得難い地道な活動に拍手を送りたい。

◎臨時総会で、横浜市仏教連合会「正しい仏教葬儀」普及ネットワー

く規則が承認され、会員説明大会も済ませ、十一月に葬儀業者との協議会にのぞむ運びとなった。「正しい仏教葬儀」の定義は特に文章化されていないが、個々の宗派の師資相承の法伝の僧の法儀を最大限尊重、信頼する態である。

◎八月二日に関東地方は梅雨明けとなったが、冷夏であった。八月十四、十五日の盆日は例年だとカンカン照りなのだが、今年はドシャ降りの雨にたれたたれた中の棚経となった。宮城東北部地震(マグニチュード7.3)。怪我人六六七人。家屋被害三七九四棟。台風十号、十四号、十五号で日本列島各地、宮古島、八丈島など自然災害による大被害で生活が行き詰まった人々が大勢いられる。

◎「都会のお葬式」此経啓助著(NHK出版・生活人新書)の目次「成仏からの自由」に矛盾だらけのお葬式と項目がある。「日本仏教の救済策によつて、死者になつてから戒名を授けられ、ホトケにしてもらう。これが「成仏の思想」である。しかし、死んでからホトケにしてもらいたい人は多いだろ

うか。もつと違った意味の「死出の旅立ち」があつても、いいのではないか。そう考える人が確実に増えている。僧侶に宗教的、一般大衆にお別れの慣習的。仏教葬儀に対するとらえ方の違いは大きい。極論すれば、人々は「日本人は死んだらホトケになる」という仏教の呪縛(成仏の思想)から無意識に逃れようとしているのではないかと、と言えなくもない。

◎新聞の出版広告欄に、こんな見出しが踊つていた。「葬式の値段にはウラがある」黒木昭雄著。葬儀一式の値段じゃ葬儀は出せない。葬儀業者への取材で明かされた、生花使い回しから二七坊主のお経までのカラクリの数々。納得の葬儀の為の必読書。一四〇〇円。「葬式仏教は死なない」青年僧が描くニュー・ブッダイズム一発行者。全日本仏教青年会。二〇〇三年全国大会「葬式仏教」を考える。仏教活性化への道。記録集。

◎ある葬儀社がこぼしていたが、年々、葬祭儀礼の常識を知らない喪家が増えているとか。寺のお檀



家でありながら、平気で葬儀はやらない戒名は要らないと言う例さえあるという。かろうじて残っていた形骸化した葬儀儀式でさえ、人々の心を把える力を失いつつある。公営霊園で合葬式墓地の人氣が高まっているようであるが、納骨のみで、供養などの宗教的行為を希望しないことが多いという。葬儀は単なる告別の儀式ではなく、去りゆく故人にとつて、また送り出す家族親族友人にとつても、大きな宗教的意義を見出すべき人生の節目であることを今こそ真剣に説かなければなるまい。

◎都築哲信師が再任され、二期目の会長職に就任され、各役員も留任となった。市仏連会長は「正しい仏教葬儀」普及ネットワーの代表も兼任となる。課題山積の中、智恵を出し合つて、互いの研鑽と市民への正しい仏教の普及を目指し、役員一同、心を新たにす務める覚悟である。これまで以上のご支援とご協力をお願い申し上げます。そのためにも会報へ大勢の会員のご意見を寄稿して下さい。